



さあ、
新しい次元へ。

ゾーベックエンテクタ™ SE

園芸用殺菌剤

予防効果が長く持続する。

2種の有効成分のはたらきにより、べと病からたまねぎを守ります！

その理由は

- 耐雨性に優れる
- 浸達性(葉表から葉裏への移行)にも優れる
- 新展開葉へも効果を発揮する

3000倍
希釈に使いやすい
167ml規格も
登場！



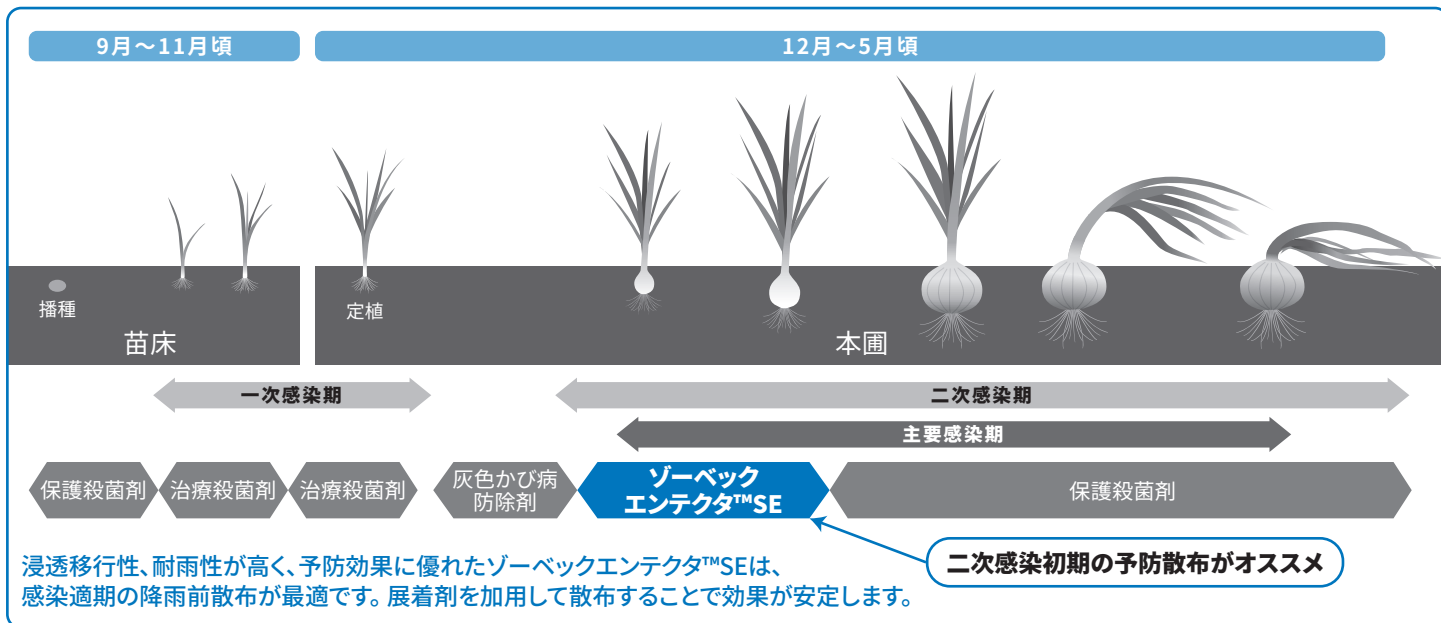
園芸用殺菌剤

ゾーベックエンテクタ™SEは、

①耐雨性に優れる ②浸達性にも優れる ③優れた浸透移行性で新展開葉へも効果を発揮する

これらの特長により「予防効果が長く持続する」べと病・疫病用殺菌剤です。
だから、作物の生育の旺盛な時期、効果の持続性が必要な時期の防除に適しています。

■推奨する使用時期(たまねぎ/西南暖地の例)



■適用病害と使用方法(抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アミスルブロムを含む農薬の総使用回数	オキサチアピプロリンを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	べと病	3000倍	100～300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内

■効果・薬害等の注意

- 使用前によく振って薬液が十分懸濁されていることを確認してから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 石灰硫黄合剤やボルドー液等アルカリ性農薬との混用はさけてください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- 散布にあたっては、風向きなどに注意し、薬液が周辺の作物に飛散してかからないように十分注意してください。
- 耐性菌管理の観点から、育苗期間中は本剤を使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 直射日光を避け、なるべく低温場所に密栓して保管してください。

■ゾーベック™耐性菌管理方針

殺菌剤分類 49, 21

- 疫病、べと病に有効な異なる作用性の殺菌剤と組み合わせた体系(ローテーション散布)で使用してください。
- 殺菌剤分類(FRACコード)49の有効成分を含む薬剤(本剤を含む)の使用回数は総防除回数の1/3を超えないようにしてください(疫病、べと病の防除が3回以内であれば1回まで)。
- 本剤は病気が発生する前に、予防的に散布してください。病気発生後の散布では十分な効果が得られません。また耐性菌の発生を助長する恐れがあります。
- 本剤は栽培期間の前半に使用してください。有効成分による作物保護効果が強く発揮されるだけでなく、耐性菌発生リスクが抑えられます。
- 殺菌剤分類(FRACコード)49の有効成分を含む薬剤(本剤を含む)は定植前の苗には使用しないでください。

Corteva AgriscienceはFRACメンバーでその活動を全面的に支持しており、前記のゾーベックエンテクタ耐性菌管理方針は上述した考え方に則って作成されています。FRACに関する参照サイト

- (1) Fungicide Resistance Action Committee (FRAC) ウェブサイト(英語)
<http://www.frac.info/home>
- (2) Japan FRAC 殺菌剤耐性菌対策委員会 ウェブサイト(日本語)
<http://www.jcpa.or.jp/labo/jfrac/>

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
●空容器は、ほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2024年12月末日現在の知見に基づき、作成されています。

製造

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー

<https://www.corteva.jp/>

取扱